

## 第5回総合計画審議会の意見及び対応一覧

	ご意見	対応
基本構想	(1) 「ながくて未来図と分野別計画の関係」について、高齢者福祉計画を追加した方が良い。	障がい者基本計画の代わりに、高齢者福祉計画を入れました。 【3ページ】
	(2) 「ながくて未来図と市民まちづくりプランの関係」について、基本目標4しか基本計画の施策と市民まちづくりプランの市民アクションが連動していないように見えるため、修正した方が良い。	ながくて未来図と市民まちづくりプランの関係を正確に表し、基本目標ごと、政策ごとの連携が読み取れるよう、図を修正しました。 【4ページ】
	(3) 「ながくて未来図と市民まちづくりプランの関係」について、連動しているのは、施策と市民アクションだけに見え、基本目標ごと、政策ごとの連携がこの図から読み取れない。分野を超えて連携することが読み取れるよう修正した方が良い。	
	(4) 「安心・安全の確保」の文章だが、ここは長久手市をとりまく社会潮流を記載する部分であるため、「…自然災害に対する住民の不安が大きくなっています。」ではなく、「…大規模災害に対応する必要がある。」等の文章に修正した方が良い。また、同じところに、「防災や防犯等」という表現があるが、「等」に他の意味がないのであれば、削除した方が良い。	「安心・安全の確保」の文章については、ご指摘のとおり修正しました。 【7ページ】  「防災や防犯等」という表現については、「等」を削除しました。 【7ページ】
	(5) ワーク・ライフ・バランスやクラウドファンディング等の市民に馴染みのない言葉が使われている。全体を通して、分かりやすい表現に心がけてほしい。	市民に馴染みのない言葉だと思われるものについては、巻末に用語集を付け、対応します。
	(6) 「災害に備えた自助・共助・公助」とあるが、地域包括ケアシステムの考え方では互助を含めた「自助・互助・共助・公助」の4助が重要と位置づけている。防災に限らず、市民の暮らし全体においてこの4助が必要と考えるため、互助を追加した方が良い。	災害における「自助・共助・公助」の考え方と、地域包括ケアシステムにおける「自助・互助・共助・公助」の考え方は異なり、地域包括ケアシステムにおける「互助」は、災害における「共助」の考え方に含まれているため、修正しませんでした。 【32ページ】

		ご意見	対応
基本計画	(7)	重点施策の位置づけがあいまいになっていると感じる。今回の総合計画では、重点的なものを位置づけているとの説明があったが、さらにその中から重点施策として位置づける整理の仕方に違和感を感じる。	重点施策は、市の将来像の実現に向けて、取り組むべき3つの重点課題に対応するための施策として3つの柱を掲げていましたが、元々、ながくて未来図が、重点的な施策を位置付けたもの（4ページ）であると説明しており、「重点」という文言が重複し、分かりにくい表現となっていたことから、再度整理することにしました。 具体的には、「重点施策」を「主要施策」に改め、将来像の実現に向けて、特に市として力を入れていく3つの方向性とそれに合致する施策と定義しました。 なお、掲載場所は、「第4章 基本計画」の一番後ろに移動させました。 【70～72ページ】
	(8)	各政策に成果指標と目標値が設定されているが、目標値が現状値と大きくかい離しているものが多く、実態に即していないように感じる。	目標値を見直し、修正しました 【45ページ～】
	(9)	成果指標の設定について、用いている指標は、市民アンケートの結果がほとんどであり、主観で左右されてしまう指標となっている。客観的なデータを指標に設定した方が良い。	事業を実施したことによる直接的な指標（アウトプット指標）については、アクションプランの事業ごとに設定します。
	(10)	成果指標の設定について、「〇〇事業の利用者数」等の事業を実施したことによる直接的な指標で、かつ、事業を進めれば確実に積み上がる指標にした方が良い。	
	(11)	「地域学校協働本部」という具体的な名称が出てくるが、どこまで具体的な名称を出すか、他の文章との統一感を考えた方が良い。	他の文章との統一感を考え、「地域学校協働本部」という具体的な名称は削除しました。 【50ページ】  また、「要保護児童対策地域協議会」についても、同様の考えから、具体的な名称を削除しました。 【48ページ】

		ご意見	対応
基本計画	(12)	「子どもが主体的に学ぶ機会の創出」という施策の中に、図書館の取組や文化芸術に関する取組が書かれている。他にも、自然環境や歴史の分野にも、子どもの主体性を育てる取組があると思うが、ここに書かれていないのが疑問である。	自然環境や歴史については、子どもに限らず、幅広い世代を対象とした取組を、自然環境については、基本目標3政策1施策(1)(2)に、歴史については基本目標5政策1施策(1)に明記しています。
	(13)	「農あるくらしの推進」について、農業後継者や新規就農者の確保、育成といった施策があるが、現状そうした人材はほとんどいなく、産業としての農業の維持は本市では難しい状況である。しかし、市民農園である「たがやっせ」は開設当時に比べると申込者数は大幅に増えている。こうした現状を捉え、本市における「農」の今後の方向性を見出した方が良い。	今後、「農」に関する取組みについては、「(仮称)長久手アグリサポートセンター」を中心に行っていく予定です。 「(仮称)長久手アグリサポートセンター」は、農に関する相談・支援、農地のマッチングや農機具の貸し出し、農楽校・市民農園(たがやっせ)等の「農」に関わる様々な取組を応援する組織として設立する予定であり、農業者に限らず、新規就農希望者や農を始めてみたい市民等、様々な人を応援する組織となります。 なお、(仮称)長久手アグリサポートセンターの説明文章を、「長久手田園バレー基本計画(改訂版)」と整合を図るため、修正しました。 【55ページ】
	(14)	「クラウドファンディング等の手法用いた財源の確保」といった記述があるが、行政で行うクラウドファンディングのイメージがわからない。本計画は10年計画であり、10年の間に新たな財源確保の手法ができていく可能性もあるので、あまり具体的な手段まで書かない方が良い。	ご指摘の部分について、「…や新たな資金調達的手法を検討し、安定した財源の確保に努めます」に修正しました。 【68ページ】
その他	(15)	基本構想と基本計画に、多くの公共施設や相談窓口についての記述があるが、市民が、それぞれが置かれた状況によってどこの公共施設や相談窓口に行けばいいかが、可視化されたルートマップのようなものがあると良い。	ご指摘の点については、「暮らしの便利帳」や「ながくて福祉ガイド(子育て編・高齢者編・障がい者編)」を作成し配布しているため、総合計画には記載しませんでした。